

(平成30年 10月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>10月の水産物は、安定して漁に出ることができたため、総入荷量、総取扱金額ともに前年同月並みとなった。</p> <p>11月からは、あんこうの水揚げが本格化する。あんこうは肝が肥大する冬が旬である。肝にはDHAやEPAが豊富に含まれており、血流改善に大きな効果がある。ぜひ、旬を迎えるあんこうを肝と一緒に御賞味いただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は7%下回った。</p> <p>品目別には、主要品目のさんま、さけ、かつお、などの多くで入荷量が上回り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月並みとなったが、需要が少なかったため、単価は10%下回った。</p> <p>品目別には、冷えびは、入荷量は上回り、単価は下回った。冷さけは、入荷量は下回り、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は8%上回った。</p> <p>品目別には、塩さけ、ぼうだらの入荷量は下回り、単価は上回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮魚) ま あ じ	長崎，山口，静岡で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で29%上回り，単価は6%下回った。
ま い わ し	愛知で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で25%上回ったが，単価の高い大サイズ中心の入荷となったことから，単価は前年同月並みとなった。
さ ば	韓国，和歌山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で12%上回り，単価は18%下回った。
す る め い か	北海道で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量，単価ともに前年同月並みとなった。
太 物	総入荷量は前年同月比で5%上回り，単価は7%下回った。
よ こ わ	青森，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で43%下回り，単価は17%上回った。
ひ ら め	宮城，韓国，島根で水揚げされたものが主体となる入荷で，養殖物の生産量の減少により入荷量は前年同月比で5%下回ったが，天然物の順調な水揚げにより単価は4%下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量, 単価ともに前年同月並みとなった。
冷 する めい か	入荷量は前年同月比で38%上回ったが, 大サイズ中心の入荷となったことから単価は18%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で7%上回り, 単価は9%下回った。
干 か れ い	入荷量は前年同月比で21%下回り, 単価は58%上回った。